

2013年04月

いよいよ春となり、新年度を迎えました。近所では桜も咲き始め暖かさも感じられます。新年度が野に咲く花々のように花開くように頑張っていきましょう！！



CONSULTING OFFICE 3S

代表 相坂 勲 (中小企業診断士)
IT業界で大手企業の業務・会計システムの設計、導入をはじめ、人材紹介業向けパッケージシステムや物流情報システム構築や個人情報保護業務に携わっていました。

2011年に独立後、サービス業、小売業、飲食業など小さな会社の経営戦略策定・IT活用、WEB活用支援に従事

「小さな会社でもできる」経営改善をテーマに中小企業の身近な相談窓口となり活動中です。

現在は茨木市を中心に大阪・京都・神戸の中小企業支援を行っています。

「現金」の動きを見る

金融円滑化法も終了を迎えました。今後の資金調達について、大きなスタンスの変化はないとされてはおりますが、金融機関の態度は少し厳しくなることも考えられます。資金調達をする上で、最も重要なポイントは、「返せること」であります。経営力で資金繰りを安定させられることと言い換えても良いでしょう。資金繰りを資金調達で安定させていることを繰り返してしまうと、財務構造が悪化し、資金調達が難しくなるという悪循環に陥ってしまいます。資金の動きを把握し、適切な対処を行うという経営の基本に立ち返ることが重要ですね。

イオンはなぜあれほどの積極的な投資ができるか

イオンがダイエーを子会社化すると発表されました。スーパー事業で5兆円を超える日本最大の企業になるわけですし、驚きを持ってニュースを見た人も多いかもしれません。これまでもイオンは買収や新規出店、海外進出に積極的でした。投資を行うには資金力が必要になります。公開企業として資金調達力はあるのは当然ですが、その資金の動きをみると、経営上必要な考え方が浮かび上がってきます。

以下は、ここ数年のイオンのキャッシュフローであります。(単位百万円)

	営業活動によるCF	投資活動によるCF	財務活動によるCF
2012年2月期	203,382	-327,865	-13,061
2011年2月期	261,132	-105,517	-12,1847
2010年2月期	361,096	-324,573	11,179
2009年2月期	234,082	-324,758	165,000

本業での稼ぎである営業活動のキャッシュフローと投資活動のキャッシュフローを見ますと年度によって上下しますが、合計ではおおよそ同じくらいの金額になります。つまりイオンは「本業で稼いだお金を投資に回している」のです。積極的に投資をしているようですが、本業での現金の稼ぎを大きく上回るような投資をしているわけではないのです。資金繰りの点では、フリーキャッシュフロー(営業CF-投資CFの額)がプラスになる方が良いのですが、積極的な投資を行っている局面ではこのような形も多いでしょう。戦略的な投資というのも時として必要ですが、銀行の借入金に依存した投資は長期的な視点で見るとリスクが高いということでもあります。

本業で稼ぎ、投資するという基本的なことを大企業が守っているのは参考になるのではないのでしょうか。もちろん環境の変化により本業で稼げなくなるリスクもありますので、そういう事も見越して資金を管理する必要がありますね。

⇒ 裏面へ

資金の動きを見る方法

キャッシュフロー計算書と資金繰り表を作ってみましょう

資金の動きを把握するのは経営管理上非常に重要です。キャッシュフロー計算書や資金繰り表は、実績と計画の差を明らかにし、キャッシュフロー計算書は、会計ソフトなどがある場合は、今後に資金繰りを見通すのに役立ちます。

作成そのものは慣れてくれば簡単に作れるようになります。タイミングにすぐ作れるようになります。

会社の資金の動きを把握する方法として、キャッシュフロー計算書を作成する方法と資金繰り表を作成する方法があります。キャッシュフロー計算書は上場企業については作成義務があるのですが、そうでない中小零細企業ではあまり作成されておらず活用しているところが少ないのが現状です。資金繰り表と考え方自体は似ているのですが、資金繰り表の場合は、「実績」と「予定」という2つの考え方で管理することが多いのに対して、キャッシュフロー計算書は決算の結果を表しているという点で少し立ち位置が異なります。いずれにしても、損益計算書上の利益とは別に現金の動きを把握するというのは極めて重要であります。勘定合って銭足らずな状態にならないためにも必要な取り組みですね。

資金繰り表やキャッシュフロー計算書を作っていますか？資金繰りを考える場合、本業で生み出す現金の大きさの範囲で賄えるだけに借入れと投資をコントロールしていくことが欠かせません。

現金の動きという視点で改善できることがないか検討してみましょう。当事務所でも経営改善のご支援をいたしますので、いつでもご相談ください。

小さな会社の経営相談

中小企業の経営戦略策定、営業強化、資金繰り、コスト削減、組織活性化、IT活用などのご相談を受けております。いつでも気軽にご相談ください。

毎週火曜日は、「WEB無料相談日」です。WEBのビデオ通話を活用した無料相談を受け付けております（要ご予約。詳しくはWEBサイトをご覧ください）。

小冊子進呈しております

中小零細企業様向けに戦略策定のための「**小さな会社の経営力向上5つのポイント**」の小冊子を無料で限定発行しております。お申し込みはお電話かWEBのお申込みフォームから承ります。

小さな会社の収益構造改善・財務構造改善を実現するためには、戦略が欠かせません。戦略策定の考え方とその視点をまとめております。

貴社の経営改善にぜひお役立てください。

